



経済建設委員会
平成26年7月14日～16日

パワーアップ商業振興事業
(岡山県倉敷市)

各地域の中心部に立地する市内商店街の活性化に向けた自主的な取り組みを推進し、商店街に賑わいを創り出すことで、地域経済やまちの活性化を図るパワーアップ商業振興事業を視察しました。補助対象者は倉敷市商店街連合会の傘下の商店街組織(任意団体も含む)や市長が適当と認める団体で、事業費の3分の1を補助しています。改装費等は100万円を上限とし、家賃は15～300万円の補助範囲です。商店側が人通りを増やすように行政側に求めている一方、



倉敷市「パワーアップ商業振興事業」



尾道市「スローフードのまちづくり」

行政側は、通行人数は増えているが商店側が活用できていないとのことで、課題も多い現状がうかがえました。

スローフードのまちづくり
(広島県尾道市)

平成24年に始まった事業で、尾道が誇る海と山からの恵みである食材やそれを支えている生産者を守り、独自の食文化を引き継ぎ、食育を進め、自然と調和する住みよいまちにしていく事業で、事業推進するための4つの柱は、①自然環境の保護、②地域の食材の提供、③生産者の保護・育成、④食を通じた教育の推進となっています。8組合・協議会と4ワーキンググループで、地域の公民館やPTTC(Parent/Teacher/Children)や各専

門家などが推進しています。地域を挙げてまちづくりを推進し、行政もまとまりがある「住みよいまちづくり」をしており、参考になることの多い視察でした。

農業再生事業の取り組み
(広島県呉市)

呉市の農業は地域によって農産物が異なっています。旧呉市・川尻・安浦地域は、特徴ある水田農業の確立を、下浦刈・浦刈地域は、施設園芸で柑橘の振興を、音戸・倉橋地域は、第3次水越基盤整備を、豊浜・豊地域は、柑橘産地の再生と園地集積整備を進行しています。遊休農地再生・活用事業には、助成制度を設けています。10a以上の遊休農地の再生及び活用の組



尾道市「食材の宝庫おのみち・PRパンフ」



呉市「農業再生事業の取り組み」

織・法人や団体で最低3年以上継続している事業に、1団体につき50万円を上限に補助しています。平成22年に3団体、平成23年に4団体、以後年1団体と低迷してきており、今後の研究が必要とのことでした。農業元氣アップ事業では、農業工夫の取り組みと、新たな農業振興策につながる取り組みを支援しています。1件50万円を上限に補助率4分の3で、ブランド向上や六次産業などの重点分野には10分の10を補助しています。島嶼部との合併で、施策が幅広いものになり、中心ポイントが決められないでいる農業再生事業状況がうかがえました。有害鳥獣問題も抱えており、日本国中、共通の問題を抱えた農業事業だとのことでした。